

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 教育指導課長 山崎 敦史 電話番号 0852-22-5444

事務事業の名称	明日のしまねを担う高校生キャリア教育推進事業	
目的	(1) 対象	県立高校の生徒及び特別支援学校高等部の生徒
	(2) 意図	生徒一人一人が社会人・職業人として自立していくためのキャリア教育を推進するとともに県内就職を促進する。
事業概要	特定の職業に従事するために必要な能力を備えた人材の育成や、卒業後に進学する生徒に対し、地域産業の理解や地域課題の発見等を通して、島根の将来を担う人材の育成を図る推進事業を実施する。①インターンシップ事業：地元企業で1日から10日程度の就業体験を行うことにより、学習の深化を図るとともに、勤労観・職業観の醸成を図る。②企業見学事業：県内事業所等の見学により、生徒の将来の生き方と進路の適切な選択決定に資する。③職業啓発セミナー事業：職業人による講話・セミナー等を通じて、生徒の職業意識及び自立心の涵養を図る。④問題解決型学習推進事業：産学官連携による問題解決型学習を推進し、地域課題の発見、課題発見及び課題解決能力を図る。	

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		74.00	76.00	78.00	80.00	
		県立高校生就職内定者/就職内定者×100	実績値	77.60	78.60	77.40	79.20		%
			達成率		106.20	101.80	101.60		%
	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値						
			実績値						
			達成率						%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	43,120	50,686
うち一般財源(千円)	43,120	50,686

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度に県内の学校が、キャリア教育の推進に向けて工夫した取組を行った。インターンシップ事業は32校で実施され、3日間の実施が主であったが、平成25年度以降4～5日間の期間を設けて実施する学校が増加しつつある。また、普通科高校でも就職希望者を対象として実施する学校や、1・2年次に地域の企業で実施する学校がある。企業見学事業は、専門高校を中心に地元企業への見学を258社に対し、延べ3,778名の高校生が見学に行っている。各企業で求められる人材等の話を聞く等、地域企業へ目を向けている。職業意識啓発セミナーでは、221社の協力を得て、延べ7,586名の生徒が、地元企業の技術者の講演や技術指導を受けている。問題解決型学習推進事業では、19校で45研究を行った。地域や企業と連携し課題に対して、生徒が主体的に研究に取り組んでいる。また、2月に各校種1～2校(計10校)で発表会を行った。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

専門高校を中心に、インターンシップや産学官連携の問題解決型学習などの各事業をとおして、地元企業や、地域への理解が深まり、県内就職率が向上した。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- ・普通科高校における、企業見学、インターンシップ、問題解決型学習の推進が進んでいない。そのため、地元企業への関心や地域への貢献意欲が十分育っていない。
- ・また、高校での学びが小・中学校の学びの延長であり、かつ社会へつながるといった連続性の意識が薄いことが課題である。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- ・カリキュラム上、課題研究や体験を中心とした活動に充てる時間が少なく、その確保が難しいと推察される。
- ・地域を理解し、地域に貢献できる人材を育成するために、小・中・高が一体となってキャリア教育を推進していくための体制が不十分である。

### ③原因を解消するための「課題」

- ・インターンシップ等の体験活動が実施しやすいように、限られた時間を工夫して、学校の年間計画に位置付ける。
- ・小・中・高と地域が連携してキャリア教育を推進するため、地域ごとに協議会を設置する必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・問題解決型学習推進事業については、成果発表の場を校内から、地域や地元の小中学校に広げ、発表会や出前授業などを実施していくことで、地域とつながりを深め、地域への愛着や、貢献意欲を高めていきたい。
- ・小・中・高と地域が連携してキャリア教育を推進するため、協議会の設置に向けて支援する事業を構築する。
- ・普通科高校で、職業意識の啓発やインターンシップ等の体験活動が促進されるようなキャリア教育の全体計画づくりを推進する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）